

心と心、笑顔のリレー

たすき

TASUKI

TAKE FREE
VOL.
08
2013年
4月発行
ご自由にお持ちください

特別寄稿

うまく付きあって、合併症を進行させない

糖尿病

済生会富山病院内科 糖尿病専門医 山崎 夕



今号の表紙

八尾城ヶ山公園の桜

松川べりの桜に少し遅れて開花する城ヶ山の桜。山頂からの美しい眺望を背景にソメイヨシノなど約1,000本が咲き誇る。

新連載

三崎院長の つぶやき



- トピックス
- 糖尿病教育入院・糖尿病教室
 - 地域住民の方への啓蒙活動
 - 糖尿病看護外来のご案内



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院
<http://www.saiseikai-toyama.jp/>

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
地域医療連携室
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



うまく付きあって、
合併症を進行させない

糖尿病

済生会富山病院内科 糖尿病専門医
山崎 夕



〈1〉どれくらいの人が糖尿病なの？

ご存知のように、糖尿病患者数は世界的にも、我が国においても増加の一途をたどっています。2011年のデータでは20歳以上の11%が糖尿病であり、そのうちの33%が40〜50代の働き盛りの方であるとされています。また、糖尿病人口の61%が60歳以上であり、加齢に伴い増加する傾向にあります。

〈2〉糖尿病ってどんな病気？

「糖尿病」はその名の通り、尿に糖が下りる病気です。尿がたくさん出るので、喉が渴きトイレが近くなります。(徐々に進行することが多く、その症状に気づいていない場合もあります)しかし、一番都合が悪いのはそんなことはありません。糖尿病は、他の多くの病気と異なり、よほどのことがなければひどい症状は出てきません。しかし、年の単位で血糖値が高い状態が続いていると、「合併症」が進行していき、ある日突然、網膜症による視力低下↓失明、脳梗塞、心筋梗塞、足壊疽↓下肢切断、腎不全↓人工透析など、「困ったこと」として目の前に現れます。その直前まで自覚症状がないところが厄介な病気です。

〈3〉糖尿病の治療目標は？

糖尿病は、他の多くの病気と異なり「治る」ことはありません。治療目標は「治す」ことではなく、よりよい血糖コントロールを目指すことであり、寿命が来るまで、困った合併症を表に出さないようにすることが唯一最大の目標です。

〈4〉糖尿病とうまく付き合っていくには？

「糖尿病」と初めて診断された方は、通常何の知識も持たれていません。ですからその後の人生の中で、困った合併症を表に出さないようにするべく、自分の身体を守るための最低限の知識を身につけていただく必要があります。さらに、現時点での合併症の進行具合の評価、またその程度に応じて治療を行うため、当院では12日間の血糖コントロール教

育入院（合併症評価入院）を行っています。これまでに入院された方たちは皆さん、「入院してよかった、何も知らないままに過ごしていたらと思うとぞっとする…」とおっしゃいます。退院間際には内面的にも外面的にも見違えるように元気に生まれ、退院後は落ち着いた時点で、開業医の先生方のクリニックへご紹介しています。

〈5〉糖尿病医療に関しての当院の役割は？

当院の糖尿病外来は、今年度は常勤医一名、非常勤医三名で対応しておりますが、他基幹病院と比較してもマンパワー不足であり、年々増加する糖尿病患者数に対応し切れていないのが現状です。しつこいですが、糖尿病は「治る」ことがなく一生治療が必要であり、自己管理ができてコントロールが安定している方は優先的に開業医の先生方へご紹介しています。逆に開業医の先生方には、血糖コントロールが悪い方はもちろん、糖尿病と初めて診断された「軽い」糖尿病の方こそ、治療の重要性を分かっていたいただくために教育入院をご紹介いただけたらと考えております。

〈6〉糖尿病地域連携パスについて

入院いただいた方からは「基幹病院から完全に離れてしまうのが不安だ」というお声もいただいております。今春以降をめどに地域連携パスの運用を予定し、その準備を進めています。具体的には、年度の当院外来での合併症評価、療養指導、栄養指導、治療アドバイスなどを考えています。

〈7〉糖尿病教室について

当院の糖尿病教室は、外来からでも参加でき、教育入院が難しい方にも好評です。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士が交代で担当し、分かりやすい内容でのお話を心がけています。「日常生活に支障をきたす状態になってから後悔してほしくない！」という熱い思いで、チーム一丸となって日々啓蒙活動を進めています。



糖尿病教室
少人数制で、質問しやすい雰囲気作り、分かりやすいお話を心掛けています。



糖尿病地域連携パス検討会
多職種が集まって地域連携パスの運用について話し合います。

Doctor



済生会富山病院内科 糖尿病専門医

山崎 夕

趣味は旅行、音楽鑑賞など。運動はあまり得意ではありませんが、患者さんに勧めている手前・・・(もちろん自身の体力づくりの目的もあり!)
日課としてダンベル体操を行うことを毎日の目標にしています。

糖尿病療養指導士による糖尿病教室

糖尿病教室は毎月開催しております。
患者さん、ご家族の方や地域の皆様もご利用いただけます。



山崎先生・看護師
「糖尿病について」講義
糖尿病について
分かりやすく
説明をしています。



管理栄養士
「食事について」
講義の様子



理学療法士
エルゴメーターで
有酸素運動を
体験して
いただきます。



薬剤師
「糖尿病の薬」
講義

地域住民の方への 啓蒙活動

患者さんやご家族のだけではなく
地域の方の参加も増えています。

「世界糖尿病デー」「外来糖尿病教室」

*25年度も予定しています。ぜひご参加ください。
詳しい日程は当院ホームページや病院にお尋ねください。



糖尿病専門医
山崎夕先生講演



11月14日は「世界糖尿病デー」

「世界糖尿病デー」に合わせ、当院では糖尿病の啓発イベントを開催しました。エントランスホールでは食事や薬の相談コーナー、血糖測定コーナー、運動やフットケアの無料体験コーナーを設け、糖尿病の方もそうでない方も多くの方々にご参加いただきました。また、研修ホールでは糖尿病併当分の講演会を行いました。口でも楽しみながら糖尿病について学んでいただき、大変盛り上がりました。



糖尿病教育入院 糖尿病教室

医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・看護師など色々な職種によるチームで患者さんの指導・支援を行っています。

当院では10名の糖尿病療養指導士が活動しています。

*糖尿病療養指導士とは、糖尿病学会の試験に合格した糖尿病の療養指導を行うエキスパートです。



5階 糖尿病教育入院病棟

糖尿病についての知識やインスリン自己注射・血糖自己測定のやり方、足のケア方法等を学んでいただけます。また、患者さんにあった糖尿病食や運動療法を体験していただき、自宅での療養生活につなげています。



インスリン注射指導の様子



糖尿病看護 外来のご案内



日時: 月～金曜日
8:30～16:30
場所: 2階

内容

- 糖尿病全般・糖尿病の療養生活についての相談
- インスリン自己注射・自己血糖測定の自己管理方法の相談
- 足のトラブルを予防するための処置、フットケアの知識・技術の提供
- 生活スタイルにあわせた療養生活の方法について
- 糖尿病透析予防指導
(糖尿病から透析に至らないための予防指導)
- 妊娠糖尿病指導

*相談時間は予約制となっております。
診察日に合わせて療養相談を行っています。

2名の糖尿病看護認定看護師が 療養支援を行っています!

糖尿病は生涯、治療を続けなければいけない慢性疾患です。治療を継続し合併症を出さないためには、患者さんの日々の自己管理が重要になります。

患者さんが糖尿病とうまく付き合えるように患者さんの生活状況、想いを聴きながら専門的な立場から支援を行っています。



療養指導の様子



糖尿病看護認定看護師の
安藤と若林です。
日常生活での心配ごとや
お困りのことなんでもご相談ください。



看護支援外来

目的

外来の患者さんやそのご家族を対象に、看護師が専門的知識や技術をもちいたケアを提供します。また、医師や薬剤師、栄養士等と連携を取りながら、患者さん及びそのご家族を支援していきます。

対象

地域における看護を必要とされる方
当院を退院された患者さん、外来通院されている患者さん

看護支援外来内容

	月	火	水	木	金
1. 摂食・嚥下				● PM	
2. ストーマ			●		
3. 床ずれ・排泄		● 第1・3			
4. こころの緩和 いたみの緩和		● AM			
5. 糖尿病	●	●	●	●	●
6. フットケア	●				
7. 心臓リハビリテーション				● AM	
8. 禁煙外来				● PM	
9. なんでも相談			随時		
10. 訪問サポート			随時		
11. 仲間サポート			随時		

予約制です

予約の取り方は
437-1111 (代表)
「看護支援外来」まで

内容に
関しては
HPをご覧
ください!

連携室 VOICE

MSW
竹です

MSW
中山です

MSW
角谷です

MSW
竹内です

看護師
島田です

事務員
大屋です

地域医療連携室の仕事

- 開業医の先生方からの紹介予約受付
- 地域のかかりつけ医の紹介
- 入院患者さんの退院先の相談
- 介護保険、身体障害者手帳など福祉制度の紹介
- 医療費の相談 etc...

こんにちは!

地域医療連携室(以下、地域連携室) 看護師長の堀田です。

地域連携室は、病院と地域との「窓口」であり、「何でも相談室」でもあります。

関わった方皆さんに、「ここを利用して良かった。」と思ってもらえるよう、丁寧かつ迅速、そして何より相手の立場に立つ事を忘れずに、スタッフ一同、力を合わせて頑張っていきます。

皆さん、地域連携室を是非ご活用下さい!

※MSW…医療ソーシャルワーカー(医療現場で働く社会福祉の専門職)



診
療
所
た
よ
り

東岩瀬クリニック

院長 阿部正浩



地域の皆様の安心できる医療の提供を目指し、地域医療に徹していません。医師は織田と阿部の二人体制で、外来診療と在宅医療を行っています。外来診療は、お子さんから大人までかかりつけ医をめざし、また済生会富山病院をはじめ富山市の基幹病院と連携をとりながら、患者さんのニーズに対応します。在宅医療は、富山市北部を中心に行っています。診療内容の詳細は、ホームページをご参照ください。また昨年5月より東岩瀬訪問看護ステーションが開始され、よりきめ細かい在宅医療に心がけています。

CLINIC DATA

東岩瀬クリニック

〒931-8336 富山市高畠町1-11-11
TEL: 076-426-0880
〈診療時間〉9:00~12:30 / 14:30~18:30
〈休診日〉日曜・祝日・土曜午後



「東京駅赤レンガ駅舎の復元から思うこと」



三崎院長の
つぶやき



東京駅丸の内赤レンガ駅舎が再来年で100周年になります。それに合わせ丸の内駅舎が昨年リニューアルしたことは皆さんご存知だと思いません。完成した丸の内駅舎の総工費はおよそ500億円とされており、太平洋戦争で焼け落ちたドーム部分が元通り再建され、建設当時の3階建ての建物に戻りました。今回のポイントは、建物自体に次の100年に向けての新しい工夫が加えられていることです。以前の駅舎は幸いにも関東大震災でびくともしませんでした。建物を支えたのは一万本の松杭であったとされています。今回は450本新しい杭を地中20メートルまで打ち込み、さらに将来、関東大震災以上の地震に襲われても倒れない免震工法を加えることで、安全性がより高まっております。すなわち、単なる100年前の再現ではなく、未来への継承をコンセプトに駅舎は完成しました。

さて、我が済生会も一昨年100周年を迎え、その式典が天皇后陛下のご臨席を仰ぎ、明治神宮会館で盛大に挙行されました。我々済生会職員は、次の100年に向かい、済生会の理念と役割を果たすべく、決意を新たにしたいところです。

当院はここ楠木に移り、はや15年経ちました。昨年、当院では「地域に存在感のある活気溢れる病院づくり」を目的として、戦略構築プロジェクトを立ち上げました。現在、解決すべき7つの課題について、それぞれその解決策に取り組んでいます。今後、救急医療の充実と脳卒中、心不全、がん、脊椎・関節に重点をおいた診療体制を整備し、更なる地域医療貢献を目指す予定です。ますます進化を遂げる済生会富山病院に、ご期待下さい。

当院にご紹介いただく先生方へ……

地域医療連携室では、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 地域医療連携室へお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 地域医療連携室で直接予約をお取りします。**
※地域医療連携室で判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

検査予約の流れ

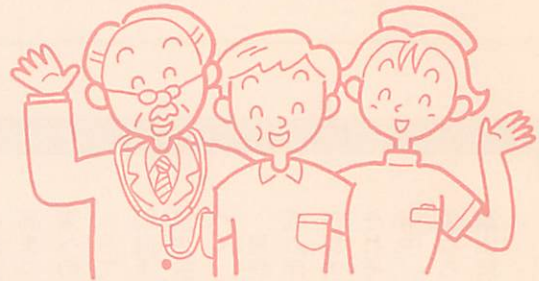
- 1 地域医療連携室へお電話ください。**
- 2 地域医療連携室で直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

検査予約時間

CT MRI
月～金 10:00～11:30 14:00～16:00
※造影ありの検査はAMのみの予約となります。

心臓CT
月 14:00～16:00(5件)
金 14:00～14:30(2件)

睡眠時無呼吸症候群関連検査
(パルスオクシメトリー 簡易式PSG) 担当:内科 井内Dr



富山県済生会富山病院 地域医療連携室

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さまと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 十分な情報を知り、説明を受ける権利
4. 選択の自由と自己決定する権利
5. プライバシーが守られる権利